

子どもたちの未来の 森づくり事業



緑の募金では、「ファミリーマート夢の掛け橋募金」並びに㈱ファミリーマートの募金寄付により都道府県緑化推進委員会推薦事業として「子どもたちの未来の森づくり事業」を実施しています。

こまおかの森 げんきづくり事業

北海道札幌市



事業概要

目的は、子どもたちに緑を愛する健全な心身を養い、社会のために役立つ自主的な活動を行わせることで、自然物への愛着が深まり、自然愛護の心情を養うこと、学校林の再生に関わることで、生涯にわたり森林を大切にしようとする心、限りある資源を持続可能な視点から活用しようとする態度を育てることである。主な活動は、学校裏に隣接する「学校林」で、樹木や植物、野鳥、虫の観察を行うこと、森の学習会、伐採・剪定・間伐作業、薪づくり体験活動、巣箱づくり、巣箱はずし、巣箱かけ、ネイチャーゲームなどの自然体験活動である。

事業成果

児童が学校林で伐採した樹木から薪を作り、「野焼き」に活用することで、エネルギーの循環や資源の有効利用について学ぶことができた。地域に住まわれる学校OBの方や地域企業の方が、ボランティアやゲストティーチャーとして

自然や資源の活用に対する思いを子どもたちに伝えるなど、学校林再生の教育活動に協力いただけた。

事業をよく知る関係者の声

- ・学校林の整備とエネルギー循環教育をつなげて実践していることが素晴らしい。学校林を生かした教育活動について北海道の他の学校へ伝えていきたい。(教育関係者)
- ・今後も学校林を通して自分たちで自然を生かし、守っていくという思いを育ててほしい。(森林活動に携わる方)

参加者の声

- ・学校林で伐採した木を薪として利用していることがエネルギーの循環を学ぶ教育になっている。燃えている薪を見て、学校林への愛情も育っていると思う。(保護者男性)
- ・子どもたちが薪づくりを楽しみ、自主的に活動しているところが素晴らしい。日常の活動として根付いてきている。(保護者女性)



薪になる学校林伐採



薪割り



薪を燃やす



学校林での巣箱かけ

実績とりまとめ

作業内容

除伐面積：3ha
間伐面積：3ha
冬の学校林観察

参加者数

道内：236人
計：236人

写万部山麓緑化事業～海とつながる木育基地

北海道長万部町



事業概要

写万部山登山口付近の北海道新幹線工事に伴うトンネル掘削残土埋立地において、植栽、地域材を活用した木製遊具や建造物等を通して、子どもたちの森林環境学習・木育の拠点を整備。主な活動は以下のとおり。①町木クロマツやサクラ、ハーブ等花苗の植栽、②地域材を活用した木製遊具や東屋の製作。

事業成果

写万部山登山口付近の北海道新幹線工事に伴うトンネル掘削残土埋立地を植栽するとともに、地域材を活用した木製遊具や東屋が完成し、子どもたちの森林環境学習・木育の拠点として、さらには見晴らしの良いビュースポットで、登山者だけではなく子どもから大人まで集まれる広場として整備された。

事業をよく知る関係者の声

- ・北海道新幹線工事に伴うトンネル残土埋立地の一部に、植樹による緑化や木製遊具の設置等、子どもから大人まで集える広場として意義のある土地の再活用は素晴らしい。(北海道新幹線工事関係者)

参加者の声

- ・何もない登山口でしたが、木育の基地として木製遊具や、いろいろな活動ができる広場として整備されており、そこに植栽を行い、植えた苗に愛着が持てるよう、切った板に文字や絵を描き手製の名札を製作するなど、子どもたちが楽しんで活動しているところが良かった。これから木育の基地としていろいろな活動を行って欲しい。(保護者女性)



木製遊具製作開始



ハスカップ、ブルーベリーを植樹



樹木の名前プレート製作



完成した木製遊具で遊ぶ子どもたち

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：83本

参加者数

道内：40人

計：40人

樹種

ハスカップ、ブルーベリー、エゾヤマザクラ、クリ、クロマツほか

「ふるさと復興の森づくり@厚真町」事業

北海道厚真町



事業概要

目的は、胆振東部地震で崩落した斜面の森を復元するために森づくり活動を行いながら、ふるさとの自然環境と防災について学び続けていくこと。主な活動は、厚真町民による、タネ採り～タネ播き～育苗～植栽の一連の以下の森づくり活動。①厚真町の林の樹木からタネを採る、②採取したタネ（球果、果実など）から種子以外の部分を取り除き、育苗箱やポットに植える、③生態学的混播混植法による植栽、④森林と地域の歴史についての学習。

事業成果

前年度までとは別の場所での活動となり、崩落場所の森林の回復を拡大できた。厚真町との連携により一般市民の参加公募を行うことができ、より住民の関心を広められた。

多くの人に地域の樹木を育てる重要性や森が果たす役割を理解してもらえた。

事業をよく知る関係者の声

- ・親子での参加が多く、家庭での学習の機会につなげることができたのではないかな。（厚真町）
- ・育苗の状態として、成長している苗木を活用したい。今後、菌根菌の効果も比較検討しながら、育苗体制を整えて、町民全体を巻き込んだ森林再生を進めたい。（厚真町担当者）

参加者の声

- ・厚真町の復興のお手伝いできた。（一般参加者）
- ・生態学的混播混植法の植栽による効果を聞き、地元（他の町）の活動にも取り入れたい。（一般参加者／地域活動者）



タネ採り



タネ播き



植樹



植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
植付本数：100本
視察：1回
タネ採り：3回
タネ播き：1回
勉強会：2回

参加者数

道内：64人
計：64人

樹種

広葉樹

こどもたちとつなぐ未来の森プロジェクト

青森県むつ市



事業概要

青い森が県名の由来である緑豊かな地域に生まれ育った子どもたちと未来に向けた森を育て、森の大切さを伝えていく。主な活動は以下のとおり。①伐採後に再造林されていない森林の地拵え、②地元の木、青森県及びむつ市の指定木「ヒバ」の植栽、③SDGsの森と海の豊かさを守る落葉樹「ヤマザクラ」の植栽（県及び市との連携）、④子どもたちによる植樹体験（地元小学校及びクラブチームとの連携）、⑤子どもたちへ森の大切さを伝えるための森林教室、下刈り体験、木工体験、林業機械と丸太切り体験（森林組合及び県立むつ技術専門校との連携）

事業成果

新型コロナウイルス感染症の拡大により一般の子どもたちの募集はできなかったものの感染対策を徹底しながら、人数を限定し、2団体との植樹活動ができた。昨年度の活動から新たに、下刈り体験及び木工体験を加え、子どもた

ちへ植えて・育てて・使う大切さを伝えることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・下刈りという言葉をはじめて聞き、雨天により体験はできなかったものの、下刈り鎌を実際に子どもたちに見せることができ、木を育てる大変さと大切さを伝えることができた。（参加クラブ担当者）
- ・ノコギリ、チェーンソー、林業機械を使った丸太切り体験は、林業の現場を実際に見る良い機会になった。サクラを植樹したことで、大人になったときにまた山に来たいと思うきっかけづくりになった。（小学校教諭30代）

参加者の声

- ・サクラの木を植えたので私が大人になったらきれいなサクラの木になってほしい。（小学生女）
- ・木はたくさんの働きをしているのがわかったので、森林を大切にしていきたい。水は無限ループして水道まで繋がっているのすごいと思った。（小学生男子）



森林教室



木工体験



丸太切り体験



ヒバ、ヤマザクラ、オオヤマザクラを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
植付本数：300本
下刈面積：0.2ha
地拵え：0.2ha
支柱設置：300本
イベント：4回

参加者数

県内：140人
計：140人

樹種

ヒバ、ヤマザクラ、オオヤマザクラ

学校林をず～っと守ろうプロジェクト

岩手県雫石町



事業概要

学校林を健全に維持・管理し、児童の体験活動や植林、下刈り、枝打ち作業等の活動を今後もずっと続けられるようにする。主な活動は以下のとおり。①長年整備できなかった林齢15～32年のスギ林の除伐・間伐。②学校林へ移動する際に使用する林道で大雨によって崩れた箇所を補修。③児童の森林や自然を愛護する心を育てる取り組みとしての森林学習会。

事業成果

長年見送っていた除伐・間伐を行えたことで、学校林の多くに陽の光が入るようになり、樹木の健全な成長が期待される。ヒューム管の再設置など林道補修により、沢水がスムーズに流れ、環境が維持され、学校林全体を管理する上での支障が少なくなった。「学校林をず～っと守ろうプロジェクト森林学習会」では、学校林や森林管理について、盛岡広域森林組合西部事業所の所長が、イラストを交えて非

常に分かりやすくお話をしてくださり、参加した児童は更に理解を深めることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・今回の助成によって、今まで手を加えられず先送りしていた補修や除伐・間伐が実現できて、とても良かった。森林学習会当日は、児童の参加が少なくなったことはとても残念だったが、学校林が更に整備されたことによって、体験活動などのフィールドワークが今まで以上に広がっていくものと思う。

参加者の声

- ・学校林は、学校・地域・町の貴重な財産。今回の助成によって、維持・管理を補ってもらったことは大変ありがたい。森林学習会に参加して、子どもたちが学校林・森林の役割や大切さを学び、今後も末永く守っていつてくれるだろうという期待がもてた。



下刈り体験学習



森林学習イラストで説明



森林学習に参加したみなさん



枝打ち作業後看板前にて

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.28ha
除伐・間伐面積：2.06ha
林道補修、道路刈払：
1,100m

枝打ち：1回
イベント：2回

参加者数

県内：104人
計：104人

SDGs キッズ海岸防災未来の森づくり事業

宮城県仙台市、七ヶ浜町



事業概要

東日本大震災で失われた宮城県の広大な海岸防災林を継続的に再生していくため、未来を担う子どもたちに参加してもらい、海岸防災林を自分のものという意識を持ってもらうことを目的とした。また、新型コロナ禍で思い切り自然体験ができていない子どもたちに、海岸防災林や海岸の開放空間でのびのびと活動してもらう機会を創出した。小学生から高校生までの幅広い世代に、海岸防災林の植樹や保育活動、海岸でのビーチコーミングとマイクロプラスチックゴミ清掃活動、運河での釣り活動等を体験してもらい、楽しい思い出作りと海岸防災林を自分たちで育てる意識を芽生えさせた。

事業成果

新規の活動フィールド（七ヶ浜町表浜緑地）を得て、子どもたちの体験プログラムが一気に充実した。具体的には、地域行政や地区の方々の協力により、全く木が植えられてい

ないフィールドを一から再生し、広い空間と安全な海岸を生かした思い切り身体を動かすプログラムを実施できた。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちが海岸防災林で活動する機会を作っていただき素晴らしい事業となった。（宮城県水産林政部森林整備課保安林班）
- ・町の活性化とより良い環境づくりに尽力していただいた。（七ヶ浜町産業課、七ヶ浜町の町議会議員）

参加者の声

- ・普段とはまた違った子どもたちの一生懸命な表情が見られた。素晴らしい授業。（仙台市立六郷小学校教諭）
- ・大勢の慣れたスタッフが指導してくれるので、安心して参加できる。（親子参加、母親）
- ・管理の悪い植樹地が多く、もう少し行政主体に海岸防災林の管理体制を見直す必要がある。（地域ボランティア）



除草



植樹



親子で間伐・枝打ちイベント



七ヶ浜町表浜緑地イベントでの参加者

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1.23ha
 植付本数：710本
 樹勢回復：1万2,565本
 下刈面積：8.4ha
 除伐面積：1.76ha
 間伐面積：0.07ha
 森林資源活用：8本
 枝打ち：250本
 施肥：645本
 体験イベント：16回
 研修会：3回
 学校授業：1回

参加者数

県内：1,600人
 県外：1人
 計：1,601人

樹種

オオシマザクラ、カシワ、クロマツ、抵抗性クロマツ、シモツケ

「七ツ森里山環境学習林」子供たちの森づくり整備事業

宮城県大和町



事業概要

目的は、長期間放置され荒廃していた県所有の「里山環境学習林」を子どもたちが安心して集える森に整備することや遊歩道の充実を図ることである。主な活動は以下のとおり。①森への主要進入路の狭いあぜ道を外部委託で幅広の道路に改良した。②森を二分する川に、仮設の渡りや階段を整備した。仮設は通常は取り外して保管する。③全体がツルで覆われたヤナギの繁茂する水田跡の除伐を会員が先行して整備、仕上げを子どもたちと協働で実施した。④森の遊歩道の刈払いと案内看板を設置した。⑤最後に水田跡地に整備記念として、子どもたちとサクラ苗を植樹整備した。⑥森のめぐみとしての木工クラフトや丸太切りを子どもたちに提供した。

事業をよく知る関係者の声

- ・水田跡が荒廃し気に病んでいたが、今回の活動で見違えるようにきれいになった。子どもたちの歓声が聞こえるようになりうれしい。(旧水田所有者の関係者)

参加者の声

イベントに参加した親子からの感想は以下のとおり。

- ・きれいな森でびっくりした。
- ・森をもっと身近に利用したい。
- ・川を渡るのは楽しかった。
- ・もっと手入れをしたかった
- ・植えたサクラが丈夫に育ってほしい。



除伐、ツル切り



川に仮設の渡渉を整備



植樹



参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
 植付本数：12本
 下刈面積：0.87ha
 除伐面積：0.5ha
 進入路開設：60m
 遊歩道刈払：500m
 イベント：2回

参加者数

県内：137人
 計：137人

樹種

サクラ

ふるさとの風景づくり植樹祭

福島県矢祭町



事業概要

子どもたちが自慢できるふるさとの風景をつくるとともに、東日本大震災の復興支援と地域振興を図る。主な活動は、耕作放棄地に原発事故で全町避難した富岡町の夜ノ森桜を増殖したサクラの苗木や森林総合研究所が開発した新しい八重桜の品種「はるか」、広葉樹を植栽した。

事業成果

今年度は最終年度として位置付けて実施した。今後の下

刈り等の管理について、土地所有者を含めて協力して整備していくことの理解が得れた。

事業をよく知る関係者の声

- ・よく継続したとの声が多い。さらにこれからサクラの名所になれば良い、などの声がある。

参加者の声

- ・良く続いた。
- ・自分で植えたサクラの花見がしたい、楽しみだ。



植栽して4年目のサクラ



植樹体験



親子で植樹



参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
植付本数：50本
樹勢回復：10本
下刈面積：1.1ha

参加者数

県内：62人
県外：11人
計：73人

樹種

サクラ、アオダモ、カエデ

子ども達の未来の森づくり

茨城県笠間市



事業概要

目的は、所有者の高齢化等から手入れ不足となっている人工林の保全活動と地域の交流、子どもたちに学びの場の提供をすることである。主な活動は以下のとおり。①スギの成長を阻害する侵入木の伐採と下刈り、ツル切り。②倒木、形質不良木の伐採、間伐と材の利用（焚き火用の薪、木工に利用）。③整備した森で子どもたちに森林環境学習と、森仕事の体験の場を設ける。④自然環境講師による、市民や子どもたちへの森林環境学習指導。

事業成果

首都圏各県から定期的に体験に足を運ぶ人が増えた。子どもたちからの森の体験、学びへの評価が高く手紙をいただいた。

事業をよく知る関係者の声

- ・継続した整備活動や、市民や子どもたちへの環境学習や体験の場を設けることは大変な苦勞があったと思う。森林保全活動への参加意識の向上に繋がる意義のある活動である。引き続き継続してほしい。(70代環境活動家)

参加者の声

- ・森の植物のことを詳しく知ることができ、感謝している。ノコギリを使った丸太切り、斧を使った薪割り、ライターを使わない火起こしを生まれて初めて体験できたことは一生の思い出になる。(中学生)
- ・暗い森が明るくなり、安心して集い会える場ができ、他の近隣の森も広げて継続してほしい。(40代女性)
- ・とても感動したので今度は家族を誘って、家族全員で参加したい。(中学生男子)



森林整備活動



皮むき間伐



環境学習



薪割り

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.4ha
除伐面積：0.05ha
間伐面積：0.15ha
イベント：18回

参加者数

県内：332人
県外：71人
計：403人

子ども参加の里山体験活動

茨城県古河市



事業概要

身近な里山にふれあうことにより、自然環境を維持することへの重要性の認識を高めるため、市民へ自然環境（里山）保全の啓発の機会となるよう、子どもたち参加の体験活動を実施する。

事業成果

茨城県内において大発生している「ナラ枯れ」による害虫被害（コナラ）が当里山にも大発生しており、子どもたちの里山体験活動において被害樹木の調査と伐採対象木としての目印表示活動を展開した。市民参加の観察会において、県内において大発生している「ナラ枯れ」の実態の観察と原因となる害虫についての参考書を増刷して配布した。この参考書は市民に大好評であった。

事業をよく知る関係者の声

- ・以前は「ごみ山」として、市民も里山にふれあうこともなく無関心な山林であった。都市部からの産業廃棄物の不法投棄場所になっており、県・市から度重なる注意・勧告がされ監視カメラまで設置された。いまだに不法投棄の根絶には至らないものの、里山保全整備活動（植林・子どもの里山体験・観察会）等の事業展開により、市民の里山への関心が高まってきたことにより、不法投棄が少なくなってきた。

参加者の声

- ・身近な里山にふれあうことにより、自然環境保全の認識が高まった。
- ・里山にふれあう機会として、散歩コースに活用したい。



里山の恵み体験（山栗拾い）



里山の恵み体験（さつまいも掘り体験）



シイタケの植菌体験



スズメバチの捕獲器設置体験

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1.5ha

植付本数：140本

下刈面積：10ha

除伐面積：0.5ha

森林資源活用：

シイタケ植菌、薪

イベント：2回

参加者数

計：715人

樹種

ソメイヨシノ、タニウツギ

「キノコの森」の整備と活用

群馬県西久方町



事業概要

目的は、地球環境の保全が叫ばれている今、キノコの研究に生涯を捧げた故森喜作氏が起業した会社（森産業株式会社）を学区内にもつ本校において、森の再生におけるキノコ（菌類）の果たす役割について、体験を通して実感させること。主な活動は、校舎裏手の一角に「キノコの森」を整備（遮光シートや駒打ちされたシイタケの原木の設置、野外観察と収穫）し、5、6年生の理科の授業（植物の成長、生物どうしの関わり）で利用（栽培キットによるシイタケの室内観察、専門家による出張授業）。

事業成果

25℃以上の気温が続くと、菌糸の増殖が停止して、シイタケが育たない。地域の企業による具体的な協力が得られた。

事業をよく知る関係者の声

- ・キノコ栽培の活性化のため、貴校PTAの取り組みに協力できて大変うれしく思う。（森産業株式会社関東営業所）

参加者の声

- ・思っていた以上にたくさんのシイタケが採れたといって家に持って帰ってきた。遮光シートをかける手伝いをしたが、環境が良いとこんなにもシイタケが育つのに驚いた。原木シイタケも立派に育ってほしい。（6年保護者）
- ・森の再生に必要な養分を、枯れた植物を分解して作れるのはキノコ類だけだということが分かり、とても勉強になった。キノコのなかった頃の分解できなかった巨大シダ植物が現代の石炭や石油の元になっていることも分かった。キノコが分解してくれなければ、地球上、枯れた植物だらけになってしまうところだった。（5年児童）



PTAによる日よけネットの設置



栽培キットでシイタケを収穫



日本きのご研究所による講演



原木の設置

実績とりまとめ

作業内容

シイタケ植菌：50本
シイタケ栽培キット：30個
ネット設置

参加者数

県内：81人
計：81人

「森のがっこう」里山再生と木の活用事業

千葉県千葉市



事業概要

小学生を対象にした森林環境教育を行う。子どもたちとともに里山の整備を行い、「伐る→使う→植える→育てる」の実践を通して森林循環への理解を深め、自分たちの手で森を豊かにできることを学ぶプログラムを提供。

事業成果

約3割の小学生が昨年より継続して参加した。各プログラムの中で、林業や樹苗園、製材所の方々と親交を深めることができ、多様な樹種の樹が手に入るようになったり、異なる樹種の樹々がより元気に育ち合う植え方を教えていただく新たな学びに繋がった。林業に携わる多くの方にプログラムに携わっていただくことで、子どもたちにとって林業が身近なものとなってきていることを実感する。

事業をよく知る関係者の声

- ・小学校低学年から参加していた子どもたちが高学年とな

り、自然や生きもの、森の状況を自分ごととして捉え、低学年の子どもたちを巻き込みながらリーダーシップを発揮して活動してくれている。(30代サポートスタッフ)

- ・活動の様子をブログやSNS等で配信することで、次回活動への参加、子育て世代が環境保全に関心を持つきっかけになったと思う。(30代プログラム企画スタッフ)
- ・どこにどのような樹が植えてあるのか、簡単なマップを作成できるとより良い。(40代サポートスタッフ)

参加者の声

- ・元気な木を育てるためには、元気な土が必要なことが分かった。(小3女子)
- ・将来は森や自然に関係する仕事や生活がしたい。自分が住む家を自分で木で建ててみたい。(小5男子)
- ・手入れ不足の森があることや木には伐り時があること、循環していくことの大切さを知った。(小学生保護者)
- ・植樹した木の話が自宅でも何度も話題に出る。植物を大切に思う気持ちが育っていてうれしい。(小学生保護者)



ツル切り



落ち葉掻き



落ち葉コンポスト



植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.08ha
 植付本数：31本
 下刈面積：0.4ha
 除伐面積：0.05ha
 間伐面積：0.01ha
 イベント：9回

参加者数

県内：52人
 県外：6人
 計：58人

樹種

クヌギ、マテバシイ、ヤマボウシ、モミジ、サクラ、クロモジほか

森の中で、図太い人間になろう

千葉県袖ヶ浦市



事業概要

水源涵養や気温を緩和する等の森林の機能を親子に学んでもらう。主な活動は、森へ入りやすくするために倒木処理等の整備をするとともに、倒木は土木工事や燃料として利用した。

事業成果

地元の人々の散歩コースになった。特にコロナ禍で安全に活動できる場所として活用されるようになった。生態調査のデータが蓄積され、様々な研究者が集まるようになった。

た。

事業をよく知る関係者の声

- ・袖ヶ浦市郷土博物館、生態系を意識した整備は珍しく、モデルになる。地元の人、周りが散歩コースとして使うようになった。

参加者の声

- ・気持ちのいい場所。暑い日でも、木陰は涼しい。水が森林から出ている様子を初めて見た。



横井戸へのルートを整備



倒木の処理



薪づくり



田植えイベントで薪を使ってお風呂を沸かす

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
植付本数：30本
下刈面積：10ha
イベント：2回

参加者数

県内：42人
計：42人

樹種

マツ、クヌギ

みんなで育てるキョロロの森

新潟県十日町



事業概要

里山の魅力や機能を体験的に学ぶことを通じてその保全を図るため、「キョロロの森」の整備と植林及び里山の保全作業体験を実施する。主な活動は以下のとおり。①対象エリア内のブナ林の育成と下刈り・ツル切り、②雑種地となっている箇所へのブナ等の植栽、③キョロロの森を活用するための散策路の整備（木道、階段工）、④木工クラフト（間伐材を使ったカトラリーづくりなど）、⑤利用者のための案内看板の設置。

事業成果

地域内の児童・生徒が全員参加して行われた広葉樹の間伐材によるカトラリーづくりは、手軽な森林作業体験とし

て有意義な活動であった。以前、植樹されたブナの苗木の管理が行き届いておらず、ツル等で生育が妨げられていた状態を改善することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・樹木が小さいうちは、ツル切りや下刈りを適切な時期に行わないと作業効果が半減する。（森林関係者）

参加者の声

- ・作業の後、参加者同士の簡単な交流会があれば楽しいし、参加者も増えていくのではないかな。（70代地元男性参加者）
- ・チェーンソーの講習会をやっていただきたい。（40代地元女性参加者）



間伐材活用カトラリーづくり



キョロロの森で低木除伐作業体験



木育体験スウェーデントーチづくり



木育体験に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.05ha
植付本数：30本
下刈面積：0.1ha
除伐面積：0.1ha
森林資源活用：4本
イベント：3回
作業道修理、生物調査

参加者数

県内：160人
計：160人

樹種

ブナ

子どもたちの未来の森づくり事業

石川県小松市、輪島市



事業概要

第66回全国植樹祭は、2015年5月に石川県で開催され、式典参加者による記念植樹が小松市の「憩いの森」で行われた。植樹された樹木は順調に成長しているが、継続した保育が必要である。地域のシンボルとなる森に育て、学童の「森の学び」のフィールドとして整備する。

また、輪島市金蔵地区には、美しい里山や奥能登の原風景を留める棚田維持に不可欠な用水溜池周辺の山林保全活動が地域住民により行われているが、高齢化に伴い次第に困難となっている。この地区は歴史的資源が残されており、世界農業遺産「能登の里山里海」の一翼を担うべく地元住民並びに小中学校と連携し、未来に引き継ぐ地域の象徴的な森づくりを行う。主な活動は、以下のとおり。「憩いの森」①植樹区域の下刈り、②植樹区域に隣接する法面の雑木伐採により、ハイキングコースの景観改善。「金蔵の里山保全」①金蔵山の休憩用東屋周辺の下刈り、②集落に隣接する里山で学童による植樹体験区域の整備。

事業成果

金蔵の里山保全活動は、新型コロナウイルスの影響でやむなく日帰りでの活動となった。地元住民及び能登地区の会員の参加を得て、今後の活動実行のための確実な一歩を踏み出すことができた。また、新規入会メンバーに対してベテラン会員が安全指導等を行うことで、安全な作業につなげることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・憩いの森では、一昨年行った地域の学童による森林整備の見学会が好評だったので、継続しての実施が希望された。（憩いの森管理事務員）

参加者の声

- ・金蔵について、地元住民の参加者が当会の活動を高く評価し、会に加入することとなった。（地元住民）



子どもたちと植樹（憩いの森）



玉切り（憩いの森）



下刈り（金蔵地区）



子どもたちが里山とふれあい（金蔵地区）

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：5.4ha
間伐面積：0.3ha

参加者数

県内：142人
計：142人

とうみ子どもがまんなかプロジェクト

長野県東御市



事業概要

地域住民との協働のもとで地域の子どもたちの元気な育ちを応援することを目的に、地域環境を活用した体験活動を実施した。今回の事業は、これまで対象として活動が展開できていなかった小学2年生以上の子どもたちを対象とした。主な内容は、「里山の散策・探検」、「森林整備や遊歩道整備」、「整備で出た材木を焚き木として活用した野外調理」等。子どもたちからの聞き取りを行い活動を実施した。

事業成果

地域の小学生の活動ニーズの高さを感じた。また、幼児を対象に実施してきた活動内容が小学生の子どもたちにとっても満足度の高い内容で実施できることが分かった。

活動に複数回参加の子どもたちも10名強おり、今後活動を支える「子どもスタッフ」の確保もできたと考えられる。

事業をよく知る関係者の声

- ・保育園で見ていた子どもたちと活動を通して関わることができうれしい。小学校の先生方も積極的にご参加いただき、幼保小の連携の場となると良い。(保育士30代)
- ・地域でこのような活動を展開されていて素晴らしい。小学校の教諭は忙しいと思うが、地域貢献の一環としても、また学校とは違った子どもたちの一面を見るという点でも、こうした活動に積極的に参加すべきだと思う。声掛けしていきたい。(小学校教諭50代)

参加者の声

- ・家ではできないことが体験できて楽しかった。普段は森に行かないので面白かった。(小学生)
- ・知っている先生がいてくれてうれしかった。友達ができ。次が楽しみ。(小学生)
- ・また遊びに行きたい。豚汁美味しかった。(小学生)
- ・お友達ができ、山の中で遊べて楽しかった。(小学生)



事前・事後はスタッフ会議実施



遊歩道整備



焚き木として活用した野外調理（豚汁）



シイタケの駒打ち

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.57ha
遊歩道整備：100m
イベント：7回

参加者数

県内：39人
計：39人

親子でできる～もり 森林づくりワークキャンプ

長野県長野市



事業概要

目的は、所有林内に親子で入れる森林体験公園をつくること。主な活動は、都市部の親子が山仕事を体験し、木に触れ自然を知る機会を提供する。また、地元の小学生たちが地域を知る活動の一環として、地域の森林や木とふれあうキッカケをつくる。

事業成果

難しいと考えていた保育園の4歳児のノコギリ体験、小学生の三つ紐伐りなど手斧を使った作業は、大人の補助のもと取り組むことができた。体験活動において、子どもには危険、体力的に難しいなど、大人の判断で単純に制限を加えるのは慎むべきだと反省した。安全面に十分配慮した上で、我々大人がやる作業をそのまま体験してもらうことこそ真の体験活動だと考えるようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・地域の人が地域の自然や受け継いだ知恵を生かしながら、次世代を担う子どもたちを楽しみながら森林体験の場を提供しているところに感銘を受けた。市街地と中山間地を繋ぐ活動として、もっと広く周知してこれからも活動を継続して欲しい。(50代女性市議会議員)

参加者の声

- ・保育園の周辺には子どもたちが本物の自然を体験できる場所がないため、森に入り、木を倒し、枝を切る体験ができ、子どもたちも大喜び。このような機会を設けてもらい感謝している。(30代女性保育士)
- ・斧で木を倒した(三つ紐伐り)のが、大変だったがおもしろかった。(小3男子)
- ・ノコギリをはじめて使った。自分で枝を切ることができて良かった。(保育園4歳児)



保育園児がヒノキの伐倒体験



小学生がロープで木登り体験



三つ紐伐りでカラマツ伐倒に挑む小学生



森林体験に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

森林資源活用：48本
作業道整備：400m
イベント：7回

参加者数

県内：126人
計：126人

名勝「金尾滝」周辺の「森の学び」整備事業

岐阜県大野町



事業概要

地域住民に親しまれ、子どもたちにとって安全な森林空間の創出を目指し、雑木などが生い茂った森から、広葉樹による景観林に変える。主な活動は以下のとおり。①雑木の伐採・ツルなどの撤去、②下刈り及び植樹場所の清掃、③伐採木を利用してベンチ・テーブル・ステップ工の製作・設置、④地域住民の見学会、⑤子どもたちといっしょに植樹会の実施。

事業成果

中部国際空港株式会社等と大野町・野区区民とが共働してSDGsに向けた森林づくりで山を整備することにより、下流域の水質の向上による魚等が育つ一環事業として、コナラやクヌギを150本植樹した。地元の小学生や本緑の募金事務局、NPO法人里山会等が参加した。今後の維持管理を含めモニタリング調査を実施することが決まった。昨年度に

植樹したミツマタの群生や本年に植樹したカンツバキが咲き誇る景色を今後とも見守って行きたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林整備にとどまらず、健康増進、森林環境教育、治水の面からも素晴らしい取り組みであり今後も協力をしていきたい。(県会議員、大野町長)
- ・雑木伐採とスギ葉撤去をしたことにより、ギフチョウの幼虫の餌となるカンアオイが自生してきている。ギフチョウの飛翔も数羽確認できた。このような環境を今後も維持していただきたい。(有識者)

参加者の声

- ・素晴らしい場所が創出され、今後もこの景観が維持できるよう励んでいただきたい。
- ・サルの出没も見られたため、対策を検討するなど、誰もが安心して利用できる憩いの場の創出を実現してほしい。



枝打ち



ステップを設置



中部国際空港関係者と大野町のSDGsの森の植樹会



子どもたちや区民による植樹会

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.3ha
 植付本数：51本
 下刈面積：0.3ha
 間伐面積：0.3ha
 清掃作業：0.3ha
 枝打ち・集積：0.3ha
 鳥獣害保護袋補修：20本
 階段設置・補修：5カ所
 廃材集積・処理：3t
 見学会：1回
 植樹会：2回

参加者数

県内：400人
 県外：70人
 計：470人

樹種

コナラ、クヌギ、カンツバキ、カワツヅクラ

「希望の森」環境整備で育む地域の絆事業

静岡県富士宮市



事業概要

井之頭中学校の学校林である「希望の森」は地域で組織する育てる会が中心となって整備され、教科横断的な総合学習の場として活用されてきた。近年「希望の森」でナラ枯れ被害が顕著となったため、被害木の伐採と林外への搬出を行い利用に当たっての安全確保を図った。また、この環境整備を契機として、改めて「希望の森」の樹木の多様性を学ぶための樹名板の設置と「ツリークライミング」体験を実施した。

事業成果

外部委託で実施したナラ枯れ被害木の除去作業は無事終了し、森の安全性が確保できた。伐採跡は開けた空間となり、樹木の再生や新しい植物の侵入が進めば、森林環境教育の新たなテーマとして活用されることが期待される。樹名板の設置については、講師の指導の下、生徒が事前に樹木の調査を行い樹名板を設置し、自然環境や生態系の多様

性について体感し学ぶことができた。ツリークライミング体験では、講師の指導により安全確保の方法やロープワークを学んだ上で自分一人の力でロープを登り、木とふれあう有効なアクティビティであることを痛感した。

事業をよく知る関係者の声

- ・地元でも懸案であったナラ枯れの被害について、事業の中で除去していただきありがたかった。安全に希望の森に入ることができ希望の森の活用が一層進むようになると思う。(地元住民60代)

参加者の声

- ・樹名板を貼ったり見たりして、樹木名の下に説明も書いてあったのでどういう木か分かった。(中学校生徒)
- ・まだ樹名板のない木は自分でも詳しく調べていきたい。(中学校生徒)
- ・ツリークライミングで木と一体になって良かった。(中学校生徒)



安全柵設置の様子



樹名板の設置



ツリークライミング



「希望の森」に看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

樹名板設置：43枚
ツリークライミング：1回
安全柵設置：10m
ナラ枯れ木除去：20本

参加者数

県内：44人
計：44人

あさくら里山の保全・活用事業

愛知県知多市



事業概要

地域で唯一残された里山を整備し、50年ほど前のにぎわいを取り戻し、地域住民の憩いの場とする。整備の過程で地域住民と子どもたちの積極的な参加を促し、子どもたちが自然の大切さや自分たちが守るという意識向上を図っていく。主な活動は以下のとおり。里山内の竹林整備、草刈り整備、サクラ・クリほかの植樹、散歩道を整備しベンチなどを設置した。

事業成果

以前の状況で「ふるさと探求ウォークラリー」と「桜を見る会」が実施できた。春には多くの人がサクラ花見に訪れるようになった。近くの園児が定期的に来るようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・散歩道が整備されてきて散歩に来るのが楽しくなる。
- ・真夏の草刈は熱中症に十分注意しなければいけない。
- ・大雨が多くなり崖崩れの心配がある。

参加者の声

- ・地元の人に会えてうれしい。(参加者)
- ・安心して園外実習ができることはうれしい。(保育士)
- ・坂道は登るのに大変だが、階段状になって歩きやすくなった。(利用者)
- ・春のイベント「桜を見る会」が雨により会館で実施されたため参加者が少なかった。



雨天のため室内で実施された「桜を見る会」



歩道の整備



植樹したサクラ



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：3本
下刈面積：1 ha
イベント：2回

参加者数

県内：280人
計：280人

樹種

サクラ

六栗西山ふれあいの森整備事業 その2

愛知県幸田町



事業概要

昭和中期まであった六栗西山の薪採りの森を復活させ、子どもたちに里山の魅力を伝え、地域の新旧住民が子どもたちとの憩いの場にするために、放置竹林を除去し活動拠点エリアを整備する。小中学校、大学等と連携活動を行うとともに、里山に残されたヤマザクラを見る会も開催し、コミュニケーションを図ることができた。

事業成果

新旧住民参加者が、至学館大学演習を受け入れ、学生との里山交流にて整備エリアの景色が改善された。豊坂小学校総合学習の受け入れほか、野外活動受け入れの案内などにより、多くの保護者に活動への理解を得ることができた。活動状況は、毎月六栗西山森の道だよりを発行し、六栗区民全世帯に周知することができた。藤田医科大学医学部に

よる里山健康社会実験を行い、人間環境大学の協力にて六栗西山森の道整備隊活動報告書の作成ができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・町議会の一般質問でも取り上げられ、地元企業からも評価・賛同をいただいている。今後、いただいた評価を継続するため、一般参加者が参加しやすいように、毎月第二土曜日の午後から活動を行うことを周知し、新たに参加される方々が増加するよう活動現場での安全確保に留意したい。

参加者の声

- ・治山のためには日頃の里山整備が必要であることを学んだ。(南部中学校1年男子)
- ・里山健康において更にデータ蓄積をしたい。(大学4年男子)



保育園児へ里生セミナー



環境整備セミナーに中学生62名が参加



大学生による里山健康調査



六栗西山森の道整備隊活動「山桜を見る会」

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
下刈面積：1ha
除伐面積：1ha
里山広場整備：19回

参加者数

県内：400人
計：400人

樹種

アジサイ

どんぐり交流会の山づくり その3

愛知県新城市



事業概要

平成8年度より、ボーイスカウト、ガールスカウト、みどりの少年団が、相互の交流と親睦を図るために「どんぐり交流会」を実施してきた。主な活動として、交流会ではどんぐりの苗木の植栽とシイタケの菌打ち体験など、山の整備として以前植栽した箇所の除間伐を実施した。どんぐり山を将来にわたり利活用できる山づくりを目指している。

事業成果

昨年に比べ参加者も増え、どんぐり交流会、どんぐり山の整備を順調に実施することができた。コロナ禍の中であ

ったが、制限された活動の中で効率良く活動することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・除間伐を実施してきた結果、山が見違えるほど明るくなり、整然とした感じが見られる。維持管理も大切だが、まず除間伐の実施により、どんぐり山全体を整備したい。

参加者の声

- ・一人での作業では限界がある。大勢の力を実感した。子どもたちは、自分が植えたどんぐりの成長を楽しみにしている。



どんぐり苗木の植栽



シイタケの菌打ち体験



どんぐり山の整備



薪割り

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.05ha
植付本数：300本
除伐面積：0.41ha
シイタケ植菌：250本

参加者数

県内：201人
計：201人

廃校のシンボルツリー再生と校庭緑化活動

三重県大台町



事業概要

廃校の枯れかけたシンボルツリーの再生活動を通し、樹木の生命力の素晴らしさに触れ健全な森林の育成を支える次世代の育成を行う。また、樹木とこの施設に愛着を持ってもらう。主な活動は以下のとおり。①アーボリスト(認定樹護士)による枯死木や枯れ枝の剪定及び伐採。②樹木医を招いた勉強会及び樹勢回復作業を実施。③シンボルツリーの樹勢回復作業完成お披露目、記念植樹、シンボルツリーのケヤキの葉っぱを活用した焼き芋。旧大杉小学校の設立100周年を記念した特別展も併せて行った。

事業成果

新聞社4社とテレビ局1社に取材及び広報で取り上げられたことにより、多くの方に地域と樹木に関心を持ってもらえた。報道を見た方から、あの木がそんな状態になっていたとは知らなかった等の驚き声も届いた。実際にこの活動に関わってくださった方々も樹木に対して高い関心を持

ってもらえたように感じる。また、樹木医やアーボリストといった専門家との繋がりができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・枯れ枝剪定及び枯死木伐採、樹勢回復作業を実施したことによる樹勢回復を期待している。シンボルツリーとして地域に認識されている樹木であるため、参加者の反応があったことも良い反応だったと思う。公共施設内のため、敷地内にある樹木の状況次第で、事故やトラブルを未然に防止する点から、樹勢回復が見込めない樹木は、事前伐採等の検討も必要だと思う。

参加者の声

- ・最近枯れ枝が目立っていたので元気になってほしい。(80代男性)
- ・今回植樹した木は子どもたちと同じぐらいの背丈だったので、来年はどうなっているのか楽しみ。(親子)



シンボルツリーの枯れ枝の剪定



記念植樹



落ち葉で焼き芋



シンボルツリーと参加者のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：3本
樹勢回復：2本
樹木の伐採、剪定：8本

参加者数

県内：28人
計：28人

樹種

カワヅザクラ

比叡平生き物観察拠点整備事業

滋賀県大津市



事業概要

生き物とふれあうことは自然を大切にし、心を豊かにすることに繋がる。大津市比叡平地域の通称「青い鳥の谷」エリアは比叡山と琵琶湖に近く、周囲が森林に囲まれており、60種を超える野鳥が飛来し、貴重な爬虫類や昆虫が多く生息し自然豊かな里山を形成している。子どもたちの自由な遊びの場として、また、自然の大切さや生き物の生態を理解してもらうため、比叡平南麓各所に生き物観察拠点を整備する。

事業成果

「青い鳥の谷子ども広場」とその周辺に生き物観察拠点づくりの整備を行った。具体的には、①ビオトープの改修、増設。②日本ミツバチ生態観察養蜂箱の設置。③フジバカマ庭園の維持管理、増設。④野鳥の餌場と水場の増設。⑤沢登りルート・散策道の整備。⑥防獣ネットや散策路の崩壊箇所の復旧。⑦里山会員と子どもたちが観察・撮影した野

鳥や昆虫を「比叡平の野鳥」、「比叡平の昆虫」として小冊子にまとめ、地域の小中学生に配布。⑧伐採木を利用し、本箱、テーブルなどを製作後、図書館に寄贈。

事業をよく知る関係者の声

- ・ 獣害で里山も危機にあるが、青い鳥の谷は周囲を柵で囲っているため、生物多様性の保持のための貴重なフィールドになっており、人工池も両生類にも貴重な産卵場所を提供している。里山倶楽部の活動により、青い鳥の谷は地域のオアシスとして認知され、多くの人に利用、小中学生の環境教育の場としても活用されている。若い人にいかに活動が引き継がれていくかが課題。(元大学教授)

参加者の声

- ・ 自然の現象と授業での取り組みが繋がってより良い学習が身に付いた。
- ・ 森の中にゴミが落ちていて驚いた。日頃から森を大切にすることを養っていかなければならない。(70歳代男性)



薪割り体験



ビオトープ周辺整備



小学校4年生里山体験



植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：90本
下刈面積：2.2ha
間伐面積：1.0ha
森林資源活用：
薪200束、ほだ木50本
里山体験活動：7回

参加者数

県内：375人
県外：154人
計：529人

樹種

トチノキ、イチヨウ、クヌギ、ウメ、ミカンほか

みんなでつくるドングリの森

鳥取県鳥取市



事業概要

「森の教室」に参加した園児達が育てた苗木を自分たちで植え付け、成長を見守ることで森林への関心の醸成を図り、森のともだちを増やしていく。主な活動は、森のともだち応援し隊の植樹指導の下、「森の教室」に参加した県内の2保育園の49人が、自分たちがドングリから育てたコナラの苗木を森林公園に植樹した。

事業成果

事業初年度に植樹したコナラの樹高が2mを超え、ドングリの森ができつつあることを実感した。

事業をよく知る関係者の声

- ・ 私たちを取り巻く環境は急速に変化してきている。この環境の変化を抑えるためにも環境保全意識の高揚を発信できる事業として、また、「未来を植え育てる事業」として今後もこの活動の輪を広げていただきたい。(森林公園指定管理責任者)

参加者の声

- ・ 「森の教室」でまいたドングリが芽を出し、苗木になるという一連の流れを子どもたちは知ることができた。育てた苗木を山に植えるという貴重な体験もできた。今日植えた苗木が、高校生になる頃には大きな木になりドングリが実ると話すと、子どもたちは驚いていた。(保育園園長)



苗木贈呈式



コナラを植樹



参加した子どもたち



植栽木を獣害から守る侵入防止柵を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：49本

参加者数

県内：64人

計：64人

樹種

コナラ

柿木地域にみんなの集う森を作ろう！

島根県吉賀町



事業概要

森林や樹木に触れることにより、楽しみや癒しを感じ愛着を持つ人を増やすために、柿木の森を地域の子どもと大人がともに体験し整備する。主な活動は以下のとおり。①植樹活動。②子どもたちが森に触れるエリアの危険木等を除去。③森林、野鳥、地元の生物の専門家を講師に招き学びの場を提供する研修を実施。

事業成果

活動に参加した方々には、森や樹木、森林が作り出す環境に愛着を持ち、癒しや興味を感じてもらえた。一連の活動を通して講師をはじめ、地域の森に関わる方々との繋がりを深めることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・児童や生徒はどの活動もいきいきと活動していた。私たちも学ぶことが多く今後も活動を継続させていきたい。地域の行事情報を共有できるようにしたい。(公民館主事)
- ・子どもの活動が多かった。大人が気軽に参加できる活動も今後楽しみにしている。(自治組織役員)

参加者の声

- ・小刀を使うのが面白かった。また小刀を使っていろいろなことをしてみたい。また来てください。(小学2年生)
- ・植林活動は初めてだった。大きくなるのが楽しみ。また見に行きたい。(小学5年生)
- ・森でハンモックすることは想像以上に癒しになった。再度体験したい。(50代女性)



そうめん流しのタケを搬出



植樹活動



森と川の繋がりを学ぶ講座



ハンモックで森林セラピー

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.6ha
植付本数：66本
森林資源活用：3回
森の遊び：2回

参加者数

県内：140人
計：140人

樹種

イロハモミジ、ヤマザクラ

みんなで育てよう伊部つながりの森の整備事業

岡山県備前市



事業概要

「伊部つながりの森」は岡山市の(株)ティシーシーが森林所有者である伊部区有林管理と協定を締結し、同社が社会貢献活動として森づくりを行うため設定した。この場所を活動の基地として平成25年に片上、伊部自治会及び(株)ティシーシーによる実行委員会を設立し森林作業だけでなく、森林を活用した体験学習に取り組み本年で10年目である。備前市内4小学校5年生児童がともに森林体験(マツの植栽、シイタケ菌の植菌)、森の役目について学び交流を通じて親睦を高めた。伊部小学校5年生より森の出前授業の要請があり授業を行った。また、伊部つながりの森ではおかやま森づくり県民基金イベントを開催した。また、地区行事の利用もあった。

事業成果

備前市が当会の成果を評価し、つながりの森内の歩行困難な約60mをコンクリート舗装できた。

事業をよく知る関係者の声

- ・つながりの森での植栽行事は10年継続されて小学校行事として定着したが植栽場所の確保が課題である。あと3年分の用地は確保されているが、例えば周辺の民有地の借上げも必要ではないか。資金についても市に働きかけてみても良いのではないかな。

参加者の声

- ・山での作業は校内で得られない体験で感謝している。



アカマツ(桃太郎松)を植樹



シイタケ植菌



出前事業



おかやま森づくり県民基金事業の参加者

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
植付本数：200本
シイタケ植菌：3,000駒
イベントの実施

参加者数

県内：約590人
計：約590人

樹種

アカマツ(桃太郎松)

里山の遊び場のフィールド整備

広島県北広島町



事業概要

目的は、次代を担う子どもたちに里山や森林の魅力を伝え環境保全意識を醸成することである。主な活動は、①里山を子どもが活用できるフィールドとして主にツリークライミングができる環境を整備すること。今年、ナラ枯れ被害の木を伐倒した。②整備した里山で子どもの自然体験活動を4回実施すること。

事業成果

年4回実施した子どもの体験活動に延べ50名近い参加者を新たに迎えることができた。その参加者が他の里山保全活動や里山を活用したイベントなどにリピートして参加するケースが多く見られ、里山のファンを増やすことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・今回の整備対象となったフィールド周辺においては、松枯れに加え、ナラ枯れが急速に進行している。この傾向は今後もしばらく継続すると考えられるため、整備の視点を特定樹種の利活用ではなく、里山全体の生物多様性の担保とそれを広く周知するための環境教育活動にシフトすることが望ましいのではないか。(現地周辺の生態系に詳しい自然観察指導員の声)

参加者の声

- ・今回初めて里山クラブに参加した。毎回子どもが楽しみにしていて、特に午前中は自然についてのテーマ学習があり、午後は子どもたちが発案する里山遊びの時間もあり、自ら発案して行動することがとても楽しかったようです。(小学校4年生男子保護者)



虫探し



植物の植替え



野鳥観察



火起こし体験

実績とりまとめ

作業内容

伐採（ナラ枯れ）
ツリークライミング剪定木調査と整備
里山クラブ：4回

みんなでつくる森の秘密基地

広島県庄原市



事業概要

里山保全や将来を担う子どもたちへ環境教育体験ができる場の確保及び持続可能な資源循環型エネルギー供給による自給自足ができる森作りを行う。主な活動は、里山保全や自然環境整備に興味のある親子や大人へ広く参加募集を行い、里山の保全・整備、地域住民が憩える空間（森の秘密基地）の環境整備、作業道整備、支障木などの伐木・間伐・製材、資源の有効活用として伐り出した材でツリーテラスづくりを行う。

事業成果

未整備地の新たな整備による「憩える空間」や伐木・間伐

で出た材を製材し、ツリーテラスのデッキへ使用することで資源を有効に活用ができた。また、一般に募集を行い活動の広報に繋がったが、コロナ禍でもあり急遽参加できなくなるなど活動人数は思い通りとはいかなかった。

事業をよく知る関係者の声

- ・実際に何をされているのか、もう少し広報されてはどうでしょうか。(女性60代)

参加者の声

- ・天候が悪かったが、森の中で木に囲まれ癒された。ぜひ次も利用したい。(40代主婦、小学校3・6年女子)



間伐の実施



間伐材を製材しデッキに使用



デッキの組み立て



完成したデッキ

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.4ha
間伐面積：0.4ha
作業道：20m
イベント：5回
整地、デッキ製作：40時間

参加者数

県内：42人
計：42人

みんなで遊ぶ森作り

熊本県高森町



事業概要

目的は、親子を対象とし親が思い切り楽しむ姿を子どもたちに見せ、家族で体験することで今後家庭でも実践しやすくすること。また、小屋づくりをプログラムに入れ、家族だけではできない大きなものをいろいろな人と一緒に協力して作るという貴重な経験をする。さらに、自然の中で遊び慣れていない子や障がいのある子が今後これらを活用することで活動しやすくすること。主な活動内容は、鶏捌き、小屋（トラス）づくり、登山。

事業成果

自然体験教室を親子対象にしたことで多くのメリットがあった。例えば、低年齢の子の参加がいつもより多く、参加者同士の中でも子どもと大人の交流が増えたり、大人のいろいろなやり方を見ることで子どもたちの上達が早かったり、参加後に家庭でも家族みんなで実践するなど、多くのうれしい声をいただいた。

事業をよく知る関係者の声

- ・ナイフや火など危険なものは先に大人がお手本を見せるべきと考えていた。しかし、子どもは「まずは自分でやってみる」と決めたことに対しては、自分で考え諦めずに取り組み、できないと悔しがり、できるとこの上なく喜ぶ姿を目の当たりにし、今後も多くの子どもたちがここでかけがえのない経験をしてほしいと感じた。（講師70代男性）

参加者の声

- ・親が夢中になった。子どもは親が活動する様子を見るのが新鮮だったようだ。（保護者）
- ・休みの日の家族での活動にアウトドア要素が加わるようになった。（保護者）
- ・子どもが他の大人との接し方を学べた。（保護者）
- ・トラスづくりでは、木工や絵を描く工程が面白く、完成したトラスの美しさに感動した。（保護者）



木材を切る



トラスの組み立て



トラスの中



自然体験教室登山に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

親子自然体験教室：6回
安全管理講習：1回

参加者数

県内：156人
計：156人

炭作りを通した循環型環境学習

熊本県芦北町



事業概要

九州豪雨水害からの復興に向け、参加者が地域環境の保全に関心を持ち、理解を深め、そして、地域の環境問題を認識し、地域復興に向けた取り組みを学ぶことを目的とする。主な活動は、炭作りと植樹。

事業成果

炭作りでは、子どもたちが木から炭への変化過程を体験することで、自然とエネルギーの関係を学ぶことができた。植樹祭では、自分たちの手で植樹を行い、森林の大切さを実感することができ、子どもたちに環境保全に対する意識を高めることができた。水害によって荒廃した山林など、目に映る風景も一変した。住民自らの手で植樹したサクラの木がこれから花を咲かせていくことはこの地域にとって時間をかけた心の復興に繋がっていくものと考えられる。

事業をよく知る関係者の声

- 炭作りや植樹を行うことで、環境に対する考え方も変わったと感想が寄せられた。以前は生業として行われていた炭焼きが、環境学習として、小学生や高校生たちへ生きた教材として提供されることは、この地域だからこそ価値ある取り組みである。災害により荒れた山林に、住民が希望の光として植樹したサクラの木が今後10年20年先に花をつけた時、地域にとって大きな希望の光になるのではないかと。(大学教授)

参加者の声

- 活動に参加し、前を向き自然と向き合いどう関わっていくのかを考える機会になった。炭焼き体験では、いろいろなものが炭になるか実験を行ったが、子どもたちは目を輝かせながら取り組んでおり良かった。今後もこのような機会を地域の方々とともに子どもたちのために作っていきたい。(小学校教諭)



里山の役割について学ぶ



炭焼きの実験で様々なものを缶箱に入れる



炭窯に木を入れる



ソメイヨシノを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
植付本数：120本
除伐面積：0.1ha
間伐面積：0.2ha
体験学習、植樹ほか

参加者数

県内：170人
県外：10人
計：180人

樹種

ソメイヨシノ

鬼神野神社の杜づくり植樹体験イベント

宮崎県美郷町



事業概要

目的は、子どもたちが神社の杜づくり体験を通じ、将来の地球環境を守り、最善策を講じることができる人材となること。主な活動は以下のとおり。①絵本「どうぞのいす」の読み聞かせ。②絵本に登場する椅子をSGEC認証材で製作。③植樹体験。

これらのコンテンツを通じて子どもたちに自然環境に共存する人類、その他の生き物に対する思いやりの気持ちを理解してもらい、実際の植樹体験から現在起きている環境問題（森林減少、温暖化、自然災害増加）を保護者と一緒に考えるきっかけづくりをする。併せて、地域住民及び出身者の参加を促し、地域の活性化へ役立てる。

事業成果

植樹は小学校及び林業大学研修生の課外授業で実施し、未来を担う二世帯と町民とが共同作業を行うことで、日本屈指の森林地帯である美郷町での参加者の森林づくりへの

意識付けができた。急勾配地であったが、地域森林組合の施業により安全に植樹イベントを開催できた。また、本事業はデジタル記事（新聞を含む）28社、地域誌2社、地方テレビ局2社、当団体SNS1万人のリーチがあり、広く活動を告知することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちにとって、森林保全が多くの町民や事業体が行う重要な事業であることを伝えることができた。また、今後子どもたちにとって自分たちで何ができるかの問題提起をすることができた大変有意義なイベントであった。（学園教師）

参加者の声

- ・森林の大切さ、木を育てることの大切さが分かった。（小学生男子）
- ・町が一体となって行う森林プロジェクトであり、いろいろな地域でこのような活動が増えると良い。（40代女性）



計11種類の樹木を植樹



植樹体験に参加したみなさん



絵本の読み聞かせ



工作

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.6ha
植付本数：800本
イベント：2回

参加者数

県内：210人
計：210人

樹種

サザンカ、コブシ、ヤマツバキ、イチヨウ、ヤマザクラほか

馬事公苑子どもの森づくり活動

鹿児島県南九州市



事業概要

子どもたちに森林に親しんでもらい森林・林業への理解を深めてもらう。主な活動は以下のとおり。①県産のスギ材を利用して、林内に「丸太のぼり」、「三角ハウス」の遊具を製作した。②長期間放置された林分を地拵えして、子どもたちが親しめる花木類を植栽した。③子どもたちに実践活動として植栽に参加いただくとともに、これまでに整備した丸太遊具等で遊ぶ活動及び木工教室を行った。④これまでに植栽した林分の下刈り等の保育活動を行った。

事業成果

子どもたちに森林に親しんでもらうため、ヤマザクラなど花木類150本の植栽と保育作業及び木製遊具整備を行う

とともに、子どもをはじめとする家族が森林に親しむ活動を行った。

事業をよく知る関係者の声

- ・当法人が馬事公苑子どもの森の整備を進めてきたことに呼応して、南九州市当局でも子どもの森に隣接する森林に森林を利用したアドベンチャー施設を整備することとなった。当該施設が完成すると、今後、子どもの森とのシナジー効果が期待される。(南九州市都市計画課)

参加者の声

- ・家族連れで参加。親世代においても森林とふれあう機会はなく、新鮮な体験であった。(保護者)



過去事業で製作した丸太遊具遊び



植樹



木工教室で椅子作り



下刈り

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
植付本数：150本
下刈面積：2ha
除伐面積：0.2ha
地拵え：0.2ha
遊具整備：2基
イベント：1回

参加者数

県内：73人
計：73人

樹種

ヤマザクラ、ユリノキ、エゴノキ、クマノミズキほか